

被災地・消防団に活動支援金を贈呈



向島・坂井分団長から仙台・佐藤消防団長に支援金を贈呈(写真左)
意見交換を行う向島消防団(写真上)



瓦礫だらけでまるで産業廃棄物集積場のような田畑が続く

6月19日、おおこし勝広は東日本震災で甚大な被害のあった仙台市若林区消防団に向島消防団有志で集めた活動支援金を届けてきました。▼東日本大震災では249人の消防団員が命を落とし、若林区消防団も、ポンプ車が7台破壊される等甚大な被害が。団員の中には自ら家が全壊する等の被災を受けながら行方不明者捜索など懸命な救援活動を展開。仙台市では最も過酷な作業に取組んで欲しいと向島消防団有志の真心を届けました。

区議会第2回定例議会 一般質問

山崎区長

木造住宅耐震補強工事の 助成限度額の拡充を提案

「実績を検証し、
更なる充実について
検討する」

6月23日、おおこし勝広は3期目の当選後、初となる区議会第2回定例会において、東日本大震災を受け、壊れない街・墨田区を進める上で、区民の負担軽減の観点から耐震補強工事助成額の拡充を提案。

本年4月より墨田区では公明党の提案で、主要道路への接道など一定条件を満たす工事について、助成金の補助率アップが実現。しかし、助成実績を検証すると殆どが限度額を超えており、補助率アップだけでは利用者の負担軽減に繋がらないことが判明。そこで補助率だけでなく助成限度額の拡充を提案。山崎区長は、実績を検証し、更なる拡充について検討を約束しました。①更におおこしは防災対策として、②家具転倒防止器具設置助成などの拡充

本会議で一般質問するおおこし区議 (6月23日)

地方重視・地方主体の復興を！ 日本自治学会主催 シンポジウム



7月2日、シンポジウム「震災復興のしくみを問う」に参加。片山総務大臣の基調講演や21世紀臨調の西尾勝氏や室崎関西大学教授、森長岡市長を交えてのパネルディスカッションが開催。遅々として進まない国の復興支援について厳しい指摘が。神野直彦自治学会会長は「復興にスピード感がなく、一方地域の意見が取り込めていない。国が主導するのはなく、地方が主体となる復興が大事」と指摘。地方分権型生活復興等、共感できる提案がありました。

皆さまの声をお待ちしています！

【連絡先】 03-5247-4726(自宅)
03-5608-6317(区役所控室)
【メール】 okoshi-s-komei@polka.ocn.ne.jp
【URL】 検索サイトで「おおこし勝広」で検索



②ペットの防災対策の推進、③学校の防災機能の強化を提案。区長からは前向きな答弁がありました。

公共施設マネジメント白書の
早期作成を！

また、区内240の公共施設のうち2割が築40年を超えた老朽施設。しかも学校以外の施設の耐震化はこれから。今後の施設の維持・整備費も多額になる事から、公共施設をソフト・ハード両面から実態を掌握し、計画的な施設計画(公共施設マネジメント白書)の作成を提案。併せて耐震化している学校を「教育施設」から「教育を主とした公共施設」として、余裕教室などを地域の施設として活用するよう提案。区長からは「実施している自治体を調査し、着手する」と答弁がありました。

小規模事業者を対象とした雇
用調整助成金の申請支援を！

区内の小規模事業者に対し、雇用調整助成金の申請ができるよう、労務管理業務の支援を強化すると共にセミナーの開催を提案。区長は、よりきめ細かな相談事業の実施とセミナー開催を約束しました。

「すみだ公明ビジョン2011」(全55項目)の1つがまた実現!

公園の芝生化が実現へ!

区立吾嬬西公園で試験実施 その他2園でも

6月24日、区立吾嬬西公園で芝生の植栽を実施。当日は地元町会役員や公園花壇を整備してくださっているボランティアの方等が参加。公園芝生化は、平成22年6月の第2回定例議会でおおこし勝広が提案。温暖化防止対策として有効とのことから試験の実施が決まったもの。今後はこの結果を検証し、区内の公園で展開する予定。



専門業者の指導のもと、地元住民参加で実施された芝生の植栽

清潔で魅力ある公園は世代を超えて区民誰しもの願い。墨田区ではこの夏、地球温暖化防止対策にも繋がる魅力的な公園づくりがスタート。6月24日、区立吾嬬西公園には、地域の方々が集合。公園内に芝生広場を作るためにお手伝いいただくボランティアの方だ。植栽する広さは100㎡、50センチ間隔で芝の苗木を植える。水やりと芝刈りをしつかり行うこ



当日は小さなお子さんも参加。自分の植えた芝の成長が楽しみ。

とで2ヶ月間で定着する芝生は手入れが問題。今回植えるのは手間要らずのティフトン芝。費用も校庭芝生化に比べ格段に安い。区内では他に2か所の公園で実施するといふ。公園芝生化は平成22年の第2回定例議会でおおこし勝広が提案。更におおこしは、広島市で実施しているティフトン芝を活用した「鳥取方式」による校庭芝生化を視察。墨田区はラバー加工の校



広島市の校庭芝生化の事業報告を受け、おおこし勝広等(昨年12月)

区議会ダイジェスト

区民文教委員会、都市開発・災害対策等特別委員会から

より深刻さを増す福島原発事故による放射能汚染問題。原発から遠く離れた首都圏でも通常より高い放射性セシウム等が検出されるようになった。こうしたことを受けて都や各区では独自の放射線量の測定を開始。墨田区でも6月から測定開始。3箇所定点観測の他、区内111箇所や学校等プールを測定することが6月16日の都市開発・災害対策特別委員会、6月28日の区民文教委員会

で報告があった。

おおこし勝広

放射線被害に関するセミナー&質問会の開催を提案

7月16日(土)10:00~
リバーサイドホールにて開催決定!

おおこしは、文教委員会で「単に放射線量を測定するのではなく、保護者の不安解消のために放射線医療に関する



区民文教委員会で放射線に関するセミナー&質問会の開催を提案するおおこし勝広(6月28日)

専門家を招き、子育て世代等を対象に放射線セミナー&質問会の開催」を提案。区長は「極めて有効。直ちに検討す

る」と答弁。急遽、7月16日に開催が決定。都立墨東病院診療放射線科部長の小山医師を講師に実施される事に。また、おおこしは特別委員会で「定点観測は3箇所だけ

でなく、区民の不安解消の視点から各保育園・幼稚園・学校・公園等も実施すべき」と指摘。他党からも賛同の声があり、当初後ろ向きだった区側も検討を約束しました。

荒川土手の抜本的調査・改修の早期実施を!



東日本大震災で津波の影響で、隅田川の水位も1m程上昇したという。今、臨海地域では津波対策の見直しが進められている。周辺を河川に囲まれた墨田区にとって堤防は極めて大切な防災インフラ。しかしこの堤防が東墨田2丁目、八広6丁目にかけて放置されたままだ(右写真参照)。おおこしは独自に荒川堤防を調査。改善が必要だ。

堤防下のグラウンド側では一部液状化現象が発生。また住宅側の堤防は以前より老朽化が激しく、今震災で更に亀裂が目立つように。6月22日、おおこしはこの調査を基に加藤都議と一緒に東京都第5建設事務所に緊急の申入れを実施。国と連携し、堤防の早期の抜本的調査とそれに基づく修繕の実施を要望。都は「国とも連携し、調査する」と約束。墨田区は海抜ゼロ以下の江東デルタ地域。もし堤防が決壊すると3階までは水浸し。国の優先順位はあると思うが早期の改善が必要だ。

地域問題



東京都第5建設事務所に申入れを行う加藤都議とおおこし勝広(6月22日)